

こまつな 小松菜 とっとり けんにい さいはい さか やさめ 鳥取県内で栽培が盛んな野菜のひとつ!

ができるまで



こまつなは、えどしだいとうきょうこまつがわふきんさいはい
 小松菜は、江戸時代に東京の小松川付近で栽培されて
 いたことから、この名前になったといわれています。
 るいむきしつほうふふくりよくおうしょくやさい
 ビタミン類や無機質を豊富に含む緑黄色野菜です。

① 土作り・耕し

ひはたけ
 たい肥をまいた畑を
 ていねいたがやつち
 丁寧に耕し、土をフ
 カフカにします。そ
 うすると、つちなかくうきすいぶんはい
 土の中に空気や水分の入るスキ
 間ができ、こまつなねは
 小松菜の根がよく張ります。

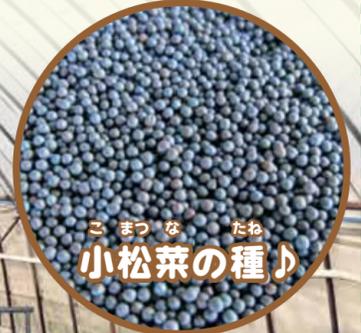
たい肥とは?

わらやおちば
 などを積み
 重ね、腐ら
 せて作った栄養たつ
 ぷりの土のこと!



② 種まき・発芽

たねきんいつ
 種を均一に、まっす
 ぐまきます。
 いっしゅうかんめ
 一週間ほどで芽がで
 ます。



こまつな たね
 小松菜の種



③ 成長

はちいうち
 葉が小さい内は、二
 しゅうかんいちどみず
 週間に一度、水やり
 をします。

かき
 夏期は30日で収穫できますが、とうき
 冬期は成
 ちようおそ
 長が遅くなるため、収穫まで60日もかか
 ります。



④ 収穫・出荷

なが
 20~25cmの長さに
 せいちよう
 成長したら、ひとかぶ
 ひとかぶ
 一株ずつ
 ていねいしゅうかく
 丁寧に収穫します。



がっこうきゅうしょく
 学校給食にも、
 たくさんしゅつか
 たくさん出荷
 しています。

